



がすみちゃんの水紀行! 機構の各事務所のキャラクターが  
色々なおはなしや施設を紹介するよ!



利根川下流総合管理所の  
かすみちゃん

# ～「プロトコル」のおはなし～

今日は、埼玉県にある本社に見学に来たよ! 会議室では、何やら  
慌ただしく準備をしているよ。テーブルの上には日本の国旗と  
見慣れない外国の国旗が飾ってあるけど、  
何の準備をしているのかなあ。



ようこそ、かすみちゃん。  
明日、海外からお客さんを招いて会議をするので、そ  
の準備をしている所だよ。海外からお客さんが来る  
場合には、「プロトコル(Protocol、日本語訳は外交  
儀礼)」にしたがって準備をする必要があるんだ。



「プロトコル」って、聞き慣れない言葉だけど、ということなの?

海外の人とお付き合いをする場合、その国の文化や歴史の違いから、思わぬ誤  
解を生じることがあるんだ。たとえば、日本ではNoと意思表示をするときに首  
を横に振るけれど、インドでは首を横に振ることはYesの意思表示なんだ。そ  
こで、外交の世界では、無用な誤解や混乱を避けるため、あらかじめ「プロトコ  
ル」を決めておいて、それに沿って海外からのお客さんをもてなすことにした  
んだ。「プロトコル」は、いわば国家間の儀礼作法とも言えるものなんだ。



そうなんだ。実際にはどんなことをするの?

例えば、会議場には普通、出席する国々の国旗を掲揚するだけ  
ど、日本のプロトコルに従えば、正面に向かって左側にお客さん  
の国の国旗、右側に日本の国旗を掲げることになっているんだ。  
水資源機構では、卓上旗を使うんだけど、やはり向かって左が  
外国国旗になるんだ。  
また、会議にその国の要人(偉い人)が参加している場合は、お  
名前に敬称を添えて紹介するんだ。例えば、大臣の場合は、His /  
Her Excellencyをお名前の前につけて紹介するんだ。

His Excellency,  
ladies and gentlemen,  
welcome to ....



へえ～!ほかに、気をつけることはあるの?

このほかにも多くの気をつけるべき点があるんだよ。食事では、例えば、イスラ  
ム教の国の方にはラードを含む豚肉を使った料理は出さないといいように、  
注意が必要なんだ。



とても気を使うんだね。

でも基本的には、海外からわざわざ来ていただいた方に気持ち良く会議に出  
席していただけるよう、相手の立場に立って考えて行動することが大事なんだ。



なるほど!おもてなしの心は、海外も国内も同じということだね。

